

大麦管理特報

令和 5年 3月 31日

魚 津 市

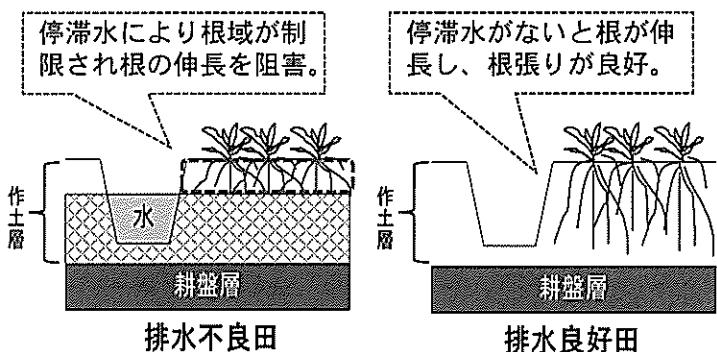
魚津市農業技術者協議会

大麦の生育は、降雪量が平年より少なく、消雪後の気温は平年よりかなり高めに推移したことから、出穂期は4月9日前後と早くなります。

登熟期間が長くなり、赤かび病のリスクが高いため、確実に防除してください。

1 排水対策の徹底

降雨や隣接ほ場からの漏水などの水がほ場内に停滞しないよう排水溝を手直しするとともに、水吐尻に連結し、排水口を掘り下げ、湿害の発生を防止しましょう。



2 赤かび病防除の実施

1回目は穂揃期、2回目はその7日後に、2回の防除を必ず行いましょう。

時期 散布方法	1回目 (穂揃期：全体の9割程度が出穂)	2回目 (1回目の7日後)
管理機	トップジンM水和剤 1000倍 150 リットル/10a	ワークアッププロアブル 2000倍 150 リットル/10a
ラジヘリ ドローン	トップジンMゾル 8倍 0.8 リットル/10a	ワークアッププロアブル 16倍 0.8 リットル/10a

注) 他の作物に農薬が飛散しないよう注意して散布しましょう

集落名	防除時期の目安【※】 (1回目)
東尾崎	4月 9日頃～
蛇田、小川寺	4月 10日頃～
三ヶ、吉野、大海寺野	4月 11日頃～
住吉、川縁	4月 12日頃～
鉢	4月 22日頃～

【※】特報発行時点での予測であり、今後の気温の推移などにより、前後する場合があります。

ハマダイコン

3 雑草種子の混入防止

カラスノエンドウやハマダイコンなどの種子が混入すると、選別が困難なため、ほ場内で見かけたら速やかに抜き取りしましょう。

また、畠畔周辺の草刈りや除草剤の散布を行い、ほ場内への侵入を防ぎましょう。

